

交換留学（派遣）帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後1ヶ月以内に所属部局教務係に提出してください。

***各項目のスペースが足りない場合は、適宜スペースを足して記入してください。**

本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、E-mailは公開されません。

氏名：

学籍番号：

e-mail：

留学先大学：ウィーン経済大学

留学先での所属学部・研究科：経営学部

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2017年 9月－2018年 6月

神戸大学での所属学部・研究科：経営学部

学年（出発時）：3年

本報告書記入日：2018年 6月 30日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日：10月 1日

学年終了月日：7月 1日

学期：

- ① 10月1日～12月22日
- ② 1月8日～2月1日
- ③ 3月1日～3月22日
- ④ 4月9日～7月1日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

キャンパスがきれい。

少人数の授業のため、人数によって人気かどうかを判断できない。

1-3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

少人数授業 30人以下 すべての授業でプレゼンテーションがある。

少人数のため希望の授業をすべて取るのは難しい。

かなり細かく、幅広い分野にわたって授業が用意されている。

実践的なコースが多い。

成績評価はプレゼンテーションとテストの点数でほとんど評価され、クラスによってはクラスの議論への参加、レポートなどでされる。

学生の授業への姿勢は積極的。グループプレゼンテーションでもフリーライダーする人はいなかった。

1-4. 履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	履修している学生数	予習，復習，テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	International Human Resource Management and rganizational behavior 2	Dr. Katharina Chudzikowski	2	6	25	グループワークが中心。4日間で集中講義をする。
2	Negotiation strategies and techniques	Dr. Manfred Huckel	2	4	24	集中的。講義よりも実際に交渉を行う実践的な授業。レッドブルのネゴシエーターによる。交渉の結果によって評価される。
3	Global Marketing research	Alkaterni Makri	2	6	15	どうマーケティング調査をするかについて。理論的。最後にプレゼンテーションがある。
4	Global Market Entry and Expansion B	Bodo.B.Schlegelmilch	2	6	16	コンピュータの stimulation game を通してどの市場に進出するべきかを学ぶ。
5	Wirtschaftskommunikation Deutsch 1a	Scattolin, Mag. Hannelore	3	6	40	ドイツ語の初心者向けの授業
6	Wirtschaftskommunikation Deutsch 2	Wurzinger, Mag. Judith	3	6	40	ドイツ語の初心者向けのコースを終えた人向け
7	Management Accounting	Riegler, Univ.Prof. Dr. Christian	2	6	15	テスト、プレゼン、問題を解きながら授業が進む
8	Corporate Investment Decisions and Financial Statement Analysis	Kreidl, Dr. Christian	2	6	15	実践的。実際の決算書で分析する
9	Business Information Systems II	Limaj, Dr. Everist MSc (WU)	2	6	20	ARIS というシステムについて学ぶ・一週間で 2 つのプレゼン、1 つのテストがある
10	Communication	Michall Kokkoris	2	2	30	日本の授業スタイルに似ていた

1-5. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

タンデムシステムがあり、語学交換のパートナーを探してくれる。語学学習の部屋もあり、充実している。

勉学面でのサポート：

特になし

精神面でのサポート：

特になし

住居・生活面でのサポート：

Survive guide や orientation で必要な手続きについてのアナウンス。

課外活動のサポート：

ESN,EBN という学生団体があり、旅行やランニングコース、飲み会、バーベキューなどさまざまなイベントを企画してくれて、友人作り、異文化交流の機会を作ってくれる。

1-6. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

OEAD を多くの留学生は使うが、すこし値段は高い。安く抑えようとするれば、ウィーンにはかなりオプションはある。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

神戸大学で指定された保険

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

WGKK

大学の international office で情報が得られる。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況： 日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。
家賃に含まれていた。

大学でのPCの使用の可否： 使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。
図書館にある。

日本語の入力は試していない。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通っていない。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

室温のコントロール

野菜を積極的に摂る。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

（現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等）

オーストリアで銀行口座を開く。

カードは2枚所有していた。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

日曜日はスーパーがやっていない。コンビニエンスストアがない。

個人主義である。多くの人が英語を話せる。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

旅行では積極的に現地の人、ホステルで部屋が同じの人とコミュニケーションを図った。

レストランやバーでも気軽に会話をした。特にスポーツバーでは一緒に盛り上がった。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

ウィーン大学の日本語学部の学生に日本語を教えていた。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

きれいで、便利で過ごしやすい町。町がコンパクトで回りやすい。芸術の都といわれるだけあり、毎日コンサートに行ける環境がある。インターナショナルな町で、多様性を受け入れる雰囲気がある。かなり安全で夜一人で歩いても、心配する必要はないほどである。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

ボストンキャリアフォーラム、ロンドンキャリアフォーラムに出席して、時間をかけて準備した。

4. 経費について

4-1. 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

航空運賃：12万

住居費（月額×留学月数）：6万 × 10=60万

食費（月額×留学月数）：1.5万 × 10=15万

保険料：7000円

その他：旅行費 交通費

計：1500000円（留学期間全体の費用）

4-2. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） Jasso 80000円/月

その他（渡航費等の支給） 円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

特になし

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

カレールー 炊飯器 たこはしアダプター 基本は留学先で調達することを薦める。理由は帰りの荷物の量が多くなり、持って帰れなくなることを防ぐため。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。

(語学力の向上, キャリアパスの明確化, 異文化理解等)

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL 等試験の名前) 75 点→帰国後 () 点

- ・日本では当たり前だと思っていたことを考え直す習慣ができたこと
- ・言語は単なるコミュニケーションツールであり、伝えようという熱意があればコミュニケーションをとれ、そのことがもっとも重要であること
- ・異文化と交流すると、アウトプットの引き出しが増えること
- ・自身のもっとも喜びを感じる瞬間がわかり、キャリアパスが明確になった。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

かばんを取られたこと。ウィーンに着いて間もなく、オリエンテーションでグラーツに行った際、昼食中かばんを盗まれた。かばんの中には財布、パスポート、家の鍵などがはいつており、それらの対処が最大の問題であった。荷物には気をつけていたつもりだったが、十分ではなかった。ただ、この経験を通してどんなことが起こっても冷静に対処できる自信はついたり、人の温かさを感じることができたりして、前向きにとらえている。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

留学をしてわかったが、私たちが毎月月次報告として、後輩のためにおくったり、留学前の手続きについての書類を記入したりしたが、それらが共有されなかったことには疑問が残った。

留学は自分でことを進めていく力が必要なため、サポートは最小限でよいと考えている。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦める。理由は奨学金を取れば、金銭面ではそれほど困ることはなく、海外の人と交流ができ、語学力も伸ばせ、よりハイレベルな授業が受けられ、精神的にも成長できる環境に身をおけるチャンスは人生を通してないから。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

(5段階評価, 5が最も高い評価, 1が最も低い評価)

- ・留学先大学の授業の「質」(内容, レベル等)に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 5
- ・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」(広さ, 料金等)に満足しましたか： 4
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 5

5-8. その他 自由に記入してください。

予測していたよりも留学生活は充実していた。留学を通して国籍、文化、価値観の違いを感じ取り、身を見つめなおすことができた。私が最も成長したと感じることは、コミュニケーション能力である。私は世界中に友達を作りたいというのが一つ留学の目的であった。そのため、誘われたら断らないという行動基準を自身を見つめなおすことができた。私が最も成長したと感じることは、コミュニケーション能力である。私は世界中に友達を作りたいというのが一つ留学の目的であった。そのため、誘われたら断らないという行動を設けて、多くの人と知り合うことを求めて行動をとった。このおかげで、幅広いコミュニティに属して、多様な価値観に出会い、多

くの友達ができ、コミュニケーションの楽しさを味わうことができた。この経験を通して、どんな状況下でもその土地に適応していけるという自信がついた。そして常に刺激を与えてくれるグローバルな環境へ出て行きたいという思いが強くなりました。経験したいと思っていたことができ、大変満足のいく留学となりよかった。

6. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書に添付して送ってください。
(デジタル画像をお願いします。)

6-1. 神戸大学では所属部局教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか。（あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。）

*担当部署（所属部局又は国際交流課）が本報告書の原本を保管します。あなたが閲覧資料とすることに同意しない場合であっても、あなたの状況等を把握するために及び本プログラムを改善するために、学内の関係部署に転送することがあります。

はい いいえ

6-2. あなたの本報告書の一部を引用して、本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい いいえ

6-3. もし写真を提出する場合、あなたの写真を報告書とともに閲覧資料とすることに同意しますか。

はい いいえ

6-4. もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい いいえ

6-5. 国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。（留学体験を発表するなど）

*ご協力いただける場合、後日、留学生センター教員よりあなたに連絡することがあります。

はい いいえ

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料となります。

本報告書の提出先は以下のとおりです。原則として e-mail で提出してください。もし、e-mail を使用できない場合は、郵送又はファックスで提出願います。

経営学研究科学部・大学院教務係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1

bkyomu@b.kobe-u.ac.jp